

令和元年度富山県水墨美術館常設展示リスト

【近代水墨画の系譜】（令和元年度第2期 7/20～）

No.	作家名	生年	没年	作品名	材質技法・形状	サイズ（縦×横cm）
		生地	没地	制作年		
1	下村 観山 しもむら かんざん	明治6 (1873)	昭和5 (1930)	壽星	絹本墨画淡彩・軸装	127.0 × 43.0
		和歌山市	横浜市	大正10～13 (1921～1924) 年頃		
2	横山 大観 よこやま たいかん	明治元年 (1868)	昭和33 (1958)	瀑布四題 夏・秋	絹本墨画淡彩・軸装 (四幅対のうち二幅)	各 160.0 × 58.0
		水戸市	東京都	明治42 (1909) 年		
3	菱田 春草 ひしだ しゅんそう	明治7 (1874)	明治44 (1911)	竹林	紙本墨画淡彩・屏風二曲一隻	168.7 × 174.4
		飯田市	東京都	明治42 (1909) 年頃		
4	今村 紫紅 いまむら しこう	明治13 (1880)	大正5 (1916)	山路	絹本墨画淡彩・軸装	106.0 × 42.0
		横浜市	東京都	明治44 (1911) 年頃		
5	小林 古径 こばやし こけい	明治16 (1883)	昭和32 (1957)	牛	絹本墨画・軸装	28.8 × 43.6
		上越市	東京都	昭和16 (1941) 年		
6	前田 青邨 まえだ せいそん	明治18 (1885)	昭和52 (1977)	風神雷神	紙本墨画淡彩・軸装	51.0 × 65.0
		中津川市	東京都	昭和15～34 (1940～1959) 年		
7	堅山 南風 かたやま なんふう	明治20 (1887)	昭和55 (1980)	鳩沼	紙本墨画・軸装	76.0 × 76.0
		熊本市	静岡県	昭和4 (1929) 年		
8	奥村 土牛 おくむら とぎゅう	明治22 (1889)	平成2 (1990)	巢籠	紙本墨画淡彩・軸装	61.8 × 84.3
		東京都	東京都	昭和16 (1941) 年		
9	篁 牛人 たかむら ぎゅうじん	明治34 (1901)	昭和59 (1984)	天台山豊乾禅師	紙本墨画・額装	179.0 × 570.0
		富山市	富山市	昭和23 (1948) 年頃		
10	篁 牛人 たかむら ぎゅうじん	明治34 (1901)	昭和59 (1984)	訶梨諦母	紙本墨画・軸装	91.0 × 115.0
		富山市	富山市	昭和45 (1970) 年		
11	齋藤 博之 さいとう ひろゆき	大正8 (1919)	昭和62 (1987)	飛天水舞河童戯図	紙本墨画着彩・屏風二曲一隻	91.5 × 173.0
		遼寧省	鎌倉市	昭和56 (1981) 年		
12	岩崎 巴人 いわさき はじん	大正6 (1917)	平成22 (2010)	なまず	絹本墨画着彩・屏風二曲一隻	127.0 × 230.5
		東京都	館山市	昭和27 (1952) 年		
13	長崎 莫人 ながさき ぼくじん	昭和4 (1929)		黒部峡	紙本墨画・額装	173.0 × 154.0
		朝日町		制作年不詳		
14	豊秋 半二 とよあき はんじ	明治40 (1907)	平成4 (1992)	下品上生観	絹本着彩・額装	159.0 × 145.0
		朝日町	京都市	昭和26 (1951) 年		
15	谷口 山郷 たにぐち さんごう	大正3 (1914)	平成12 (2000)	廃屋	紙本墨画・額装	85.0 × 55.0
		朝日町	朝日町	平成4 (1992) 年		
16	須賀 松園(二代) すが しょうえん	明治31 (1898)	昭和54 (1979)	狩獵文水盤	蠟型鑄造	19.0 × 39.0 × 12.0
		東京都	高岡市	昭和27 (1952) 年		
17	山崎 覚太郎 やまざき かくたろう	明治32 (1899)	昭和59 (1984)	鶯飾盆	髹漆	2.0 × 30.3 × 30.3
		富山市	東京都	昭和42 (1967) 年		

令和元年度富山県水墨美術館常設展示リスト

【下保昭作品室】（令和元年度第2期 7/20～）

下保 昭 昭和2（1927）年 砺波市生まれ～平成30（2018）年 京都市にて逝去

No.	作品名	制作年	材質技法・形状	サイズ（縦×横cm）
1	白雲日月 はくうんにちげつ	昭和46（1971）年	紙本着彩・屏風六曲一双	各 168.0 × 373.5
2	華巖 けごん	平成10（1998）年	紙本墨画・額装	93.7 × 45.5
3	称名双瀑 しょうみょうそうばく	平成10（1998）年	紙本墨画・額装	93.5 × 45.0
4	黒部幽谷 くろべゆうこく	平成11（1999）年	紙本墨画・額装	69.2 × 35.0
5	三上山遠望 みかみやまえんぼう	昭和56（1981）年	紙本墨画・軸装	27.3 × 48.5
6	妙義風騷 みょうぎふうそう	平成8（1996）年	紙本墨画・額装	30.0 × 63.5
7	八ヶ岳 やつがたけ	平成12（2000）年	紙本墨画・額装	43.1 × 93.0
8	白糸白韻 しらいとはくいん	平成10（1998）年	紙本着彩・屏風六曲一双	各 168.0 × 372.0

主要作品解説

No. 1 《白雲日月》

黒部の風景が元になった作品です。作者は昭和44（1969）年の夏に気の合う絵かき仲間4、5人と黒部峡谷に行き、1週間ほど隧道（すいどう）の中にテントを張って生活しています。雲間に連なる山々が続くように描かれ、右隻に太陽、左隻に月を、あたかも対峙するように配し、自然の美しさを象徴的に表そうとしているようです。

No. 8 《白糸白韻》

日本の滝百選のひとつである静岡県富士宮市の名勝・白糸の滝を題材にした作品です。作者は、実在の風景に取材しながら、対象の力強さや躍動を感じ取り、自らの心のリズムに置き換えて表現すると語ります。薄間の中、とめどなく流れ落ちる白い滝の連なりが、プラチナ泥を用いた独自のタッチで描き表されています。